

古川 智之さん（岡山県浅口市出身）  
2015 年度 2 次隊 青年海外協力隊  
派遣国：ソロモン 職種：防災・災害対策  
2017 年 2 月 19 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 防災情報を届け続ける

南太平洋、ソロモン諸島の国家災害管理局での活動も折り返しを過ぎた。任期は 2015 年 10 月からことし 9 月末。活動内容は情報管理業務、地域コミュニティ防災活動、有事の際の活動支援である。

当初 1 年間は、情報管理業務の一つとして、災害管理局のウェブサイトを作り、簡易水位計・雨量計を水害の多い地域に設置した。インターネットインフラはまだまだ

脆弱ぜいじやくで、開発にあたり困難なこともあったが、同僚のサポートや前職の経験を生かし、無事公開することができている。

地域コミュニティ防災については、特に水害被害の発生箇所を調査し、機器を設置した。地方は電気、水道、インターネットなどのインフラは皆無に等しいが、地域住民は過去の災害を言い伝えており、皆の危機管理能力は高く、地域の強い結び付きから、コミュニティ単位での防災能力は非常に高い。

しかし気候変動で体験したことのない大雨、それに起因する土砂災害、季節外れのサイクロンや巨大地震が発生している現在、有事に機能する簡易水位計の意義は高いと感じた。

昨年 12 月 9 日午前 4 時 38 分にソロモン諸島南部で M7.8 の地震が発生した。私はウェブサイトから被害状況を発信し、国民やドナー、ソロモン諸島に関心がある人々に情報を届け続けた。それらすべての活動、およびソロモン諸島での生活は、心優しい同僚に助けられていることに感謝し、残りの任期を全うしたい。



簡易水位計を設置した村の住民たち。水位が上がると、警報音が鳴る仕組みだ